



# Jichi 地域連携ニュース

- 地域医療連携部長就任のご挨拶
- H25年度附属病院の体制
- 診療部門からのメッセージ  
     乳腺科      循環器内科
- 認定看護師の活動状況 「乳がん看護」。NST研修会のお知らせ

## 地域医療連携部長就任のご挨拶

呼吸器外科教授 長谷川 剛



このたび地域医療連携部の部長に就任いたしました。今までは呼吸器外科医として、肺癌や気胸の患者の多くの紹介を先生方からいただき外科治療を中心に一般臨床を担当してきました。また並行して医療安全対策部長として院内外の医療安全推進活動に取り組んできました。

この4月からは今までの呼吸器外科診療や医療安全推進活動に加えて、地域医療連携の業務を中心に仕事をさせていただくことになります。自治医科大学附属病院は、たくさんの開業医の先生方や周辺の病院の先生方との連携があってはじめてその力を発揮できるものと考えております。最近地域連携はひとつのやり言葉のようになって語られておりますが、実際に我々の臨床現場の目線で考えれば非常に難しい問題が山積みの領域でもあります。

微力ではありますが、ひとつずつ解決に向けて努力させていただき、周辺医療機関の先生方や行政の方々、そして自治医大の職員にとっても仕事がしやすい状況が作れるように頑張りたいと思います。私達の究極の目標は患者やその家族が適切な医療を受けることができ、その診療の全体に心から納得のできることだと考えております。医療の専門分化が進み、医療資源の不足や少子高齢化や核家族化などの問題を考えていくと、高度な医療の提供と患者本人の納得の問題には多くのジレンマがあることも事実です。しかしながら地域全体で患者やその家族と関わることによって少しでもよい方向への解決があると信じて、地域医療連携のよりよい形を模索していきたいと存じます。皆様からのご指導ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い致します。稚拙ではございますが、部長就任の挨拶とさせていただきます。

## ◀H25年度 附属病院の体制▶

役職	氏名	担当	所属部門
病院長	安田 是和		外科学主任教授(兼)消化器センター外科部門科長
副病院長	鈴木 光明	総務、病院機能改革、医療安全外科系・中央施設部門担当	産科婦人科学主任教授(兼)総合周産期母子医療センター長
	杉山 幸比古	リニューアル、保険診療、内科系担当	内科学主任教授(兼)呼吸器センター長
	朝野 春美	看護全般	看護部長(兼)とちぎ子ども医療センター副センター長
病院長補佐	相原 敏則		とちぎ子ども医療センター長(兼)小児画像診断部長
	佐田 尚宏		消化器センター副センター長(兼)鏡視下手術部長
	小西 宏明		企画経営部長(兼)中央手術部長(兼)循環器センター外科部門医員
	長谷川 剛		医療安全対策部長(兼)地域医療連携部長

## ＜診療部門からのメッセージ＞

### 乳腺科

乳腺科科長兼消化器センター外科部門(准教授)

穂積 康夫

平成24年11月から乳腺・総合外科から乳腺科へ診療科の名称が変わりました。外科をやめたわけではありませんが、実際の診療内容が、乳癌の診断・手術だけでなく抗がん剤・ホルモン剤を中心とした薬物療法の占める割合が多いことから乳腺科という名称にいたしました。

乳癌治療はここ20年間で大きく変わりました。画像診断の発達でより早期の乳癌が発見されることが多くなり、手術は乳房温存手術、腋窩リンパ節郭清を省略するセンチネルリンパ節生検が主流になり、低侵襲の手術となっております。さらに、薬物療法は癌のサブタイプに応じたテーラーメイド治療へと変わりつつあります。

当科は北関東でも症例数は1-2をあらそう、乳癌診療に特化した診療科です。原発乳癌の治療のみならず、他院での初期治療が行なわれた進行再発の乳癌に対しても同様に治療を行っております。

また、数多くの治験・臨床試験を行っており、日本でも有数の施設となっております。

乳癌の治療につきまして、何かございましたらいつでもお問い合わせ下さい。尚、誠に勝手ではございますが、現在急増する乳癌患者数とスタッフ数の問題で、乳癌検診及び検診の2次精査につきましては対応が出来ない状況であります。

これらにつきましては、推薦医療機関がございますので医事課初診係へお問い合わせ頂けたら幸いに存じます。何卒よろしく願い申し上げます。

### 循環器内科

病棟医長(助教)

池本 智一



自治医科大学循環器内科は、大学病院として高度な医療を提供するとともに、地域の中核病院としての役割を果たすため、豊富なスタッフを揃え循環器内科のあらゆる分野に対応できる体制をとっております。虚血性心疾患や不整脈の治療については、大学病院としては全国でも有数の症例数であり、高血圧分野では治療抵抗性高血圧に対する新たな治療法にも取り組んでおります。

また、近年は専属の技師により主にエコーなどによる全身の血管のスクリーニング検査を行っており、ハイリスクな動脈硬化性疾患の早期発見、治療を心がけております。そのため、閉塞性動脈硬化症などの治療例が増加しております。

また、地域医療への貢献を目標としており、そのためには病診連携を強化することが必要と考えております。先生方からの患者様のご紹介あるいは患者様からの診療の希望がありましたら、必ずお受けし、ご紹介頂いた先生の元へお返しする、あるいは逆紹介させて頂くこととしております。

軽症から重症までどのような症例でも構いませんし、治療方針についての相談などでも構いませんので、お気軽にご連絡下さい。当院では365日24時間体制で循環器内科医が院内に常駐しておりますので、緊急の症例にも迅速に対応が可能です。さらに病診連携への取り組みの一つとして、循環器ホットラインという当科医への直通電話を設けました。24時間連絡可能です。従来の連絡先へのご紹介でも結構ですが、より迅速に対応でき、またよりお気軽にお使い頂けるものと思いますので、ご活用頂ければ幸いです。

循環器ホットライン 090-1124-2306

## ◀認定看護師の活動状況▶

乳がん看護認定看護師

軽部 真粧美



私は、乳がん看護認定看護師として、1.乳がん治療に伴う身体的・心理的・社会的問題に対する支援 2.治療選択時の意思決定支援 3.リンパ浮腫の予防、症状緩和に向けての専門的技術の提供 4.乳がん治療に伴うボディイメージの変容に対する支援 5.他の看護職者に対する相談・指導 6.乳がんの治療・ケアに携わる専門家(医師・専門看護師・認定看護師・コメディカル)と連携した支援 7.患者・家族の人権の擁護 を役割として、院内・院外で活動しています。

自治医大乳腺科は、完全紹介制、予約制です。基本的に、他の医療機関での受診の結果、当院での検査・治療が必要と判断され紹介状をお持ちの方のみ診療を行っています。そのため、来院する患者は、地域の医療機関で乳がんの疑いや診断を受けることとなります。

乳がんの可能性を指摘された患者やその家族が、氾濫する間違っただけの情報から過剰な不安や怖れを抱いたり、混乱したりといったことがないように、正しい情報の提供と適切な看護支援をしていきたいと思っています。また、乳がんかもしれないと思いながらも、怖くて受診できずに病状を進行させてしまう患者も少なくありません。定期検診の推進と、気になる症状があったら早期に地域の医療機関を受診するように、啓発活動を行っていききたいと思います。

## ♪♪♪ 附属病院からのお知らせ ♪♪♪

### ※ NST研修会のご案内

参加無料(申込み不要)

会場 自治医科大学地域医療情報研修センター 中講堂 (本館西側の茶色の建物)

対象 NSTに関わる医療スタッフ

問合先 臨床栄養部 NST支援室 ☎ 0285-58-7574 Eメール nst@jichi.ac.jp

演題	日程	講師
栄養評価(アセスメントとプラン) NST事例報告	6月4日(火) 18~19時	臨床栄養部 川畑奈緒 管理栄養士 (NST専任管理栄養士)
経腸栄養について PEG・PTEGについて	7月2日(火) 18~19時	臨床栄養部 川畑奈緒 管理栄養士 (NST専任管理栄養士) 看護部 古内三基子 看護師長 (NST専任看護師)
静脈栄養について(プラン・モニタリング)	8月6日(火) 18~19時	消化器外科 倉科憲太郎 医師 (NST専任医師) 薬剤部 村上径世 薬剤師 (NST専任薬剤師)

発行者 自治医科大学附属病院地域医療連携部

TEL 0285-58-7461 FAX 0285-44-5397 Eメール byoushin2@jichi.ac.jp